

放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) の
制作に係る提案募集について

次のとおり提案を募集します。

2025 年 7 月 25 日

分任契約担当者

放送大学学園 財務部長 北原 文幸

記

1 提案を募集する事項

(1) 件 名 放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) の制作業務

(2) 仕様等 放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) の制作業務
仕様書(以下「仕様書」という。)のとおりに。

契約の案件の説明については、仕様説明書を送付する方法により行います。

つきましては、仕様説明書の送付を希望される場合、下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。

放送大学学園放送部放送管理課業務係 mail:gyoumu-k@ouj.ac.jp

※在宅勤務等で担当者が不在の場合がございますので、恐れ入りますが
ご連絡は必ずメールにてお願いいたします。

2 概算所要経費

仕様書のとおりに

3 応募者に必要な資格に関する事項

(1) 「放送大学学園契約事務取扱規程」第 4 条及び第 5 条の規定に該当しないものであること。

(2) 国や地方公共団体の機関において、取引停止又は指名停止の処分を受けているものでないこと。

(3) 有効年度が令和 7 年度の「全省庁統一資格」において、関東・甲信越地域の「役務の提供等」の A, B, C または D の等級に格付けされている者であること。

4 提出書類等

『放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) の制作に係る業者選定実施要領 (以下「実施要領」という。)」による。

5 選定方法等

概算所要経費の範囲内において、有効な見積金額を提出した者の中から、放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) に係る制作業者審査基準等に基づき、学園の評価担当者による提出書類等の審査を行う。

審査の結果、番組毎に、最も優秀と認められた業者を一者選定する。

なお、審査内容や経過に関する問い合わせには応じない。

6 契約について

契約書の作成を要する。

7 本件に関する問い合わせ先

〒261-8586

千葉市美浜区若葉 2-11

放送大学学園 放送部放送管理課業務係

MAIL gyomu-k@ouj.ac.jp

8 提出書類等の提出先、提出方法及び提出期限

(1) 提出先 上記 7 と同じ

(2) 提出方法 郵送※による

(3) 提出期限 郵送：2025 年 8 月 12 日（火）17 時必着

※配送確認のとれる方法（例：書留等）で提出すること。

9 その他

(1) 提案に要する経費は、全て提案者負担とする。

(2) 提出された書類等は、返却しないものとする。

(3) 「3 応募者に必要な資格に関する事項」に定める資格を有しない者、提出書類に虚偽の記載をした者の企画提案は無効とする。

(4) 企画競争の結果については、各提案者に通知する。

放送大学「生涯学習支援番組」(2025 年度第 3 回制作) の制作業務仕様書

1. 業務概要

放送大学学園（以下「学園」という。）のテレビ番組（以下「番組」という。）の構成・演出・収録・編集等の制作業務を行う。

本番組は、2025 年度以降に放送予定のテレビ生涯学習支援番組である。

請負事業者は、学園が示す企画方針および計画に基づき、学園プロデューサー等と連絡・協議を行いつつ連携をとり、番組制作業務を遂行する。

2. 請負期間

仕様書別紙 1 のとおり

3. 制作する番組・本数・概算所要経費

仕様書別紙 1～4 のとおり

4. 番組制作業務の具体的内容、手順

1) 放送番組の演出

- ・出演講師、学園プロデューサー等と打合せによる内容原案を元に、演出方法及び内容を策定、実施

2) 内容検討・番組進行表の作成

- ・番組全体の構成案（項目、配列、時間、配分）策定
- ・映像・音声素材等の選定（ビデオ・写真・コメント等）
- ・出演者との内容・スケジュールの交渉（講師・ゲスト等）
- ・ロケーション先の選定、必要に応じた下見

3) ロケーション（国内）の実施と編集

- ・ロケーション（国内）に必要な要員の手配、機材の準備及びロケーションの実施
- ・出演者のヘアメイク及び衣装の手配
- ・ロケーション実施後の映像・音声の編集等、ポストプロ業務

4) 番組の素材資料の収集と作成

- ・動画・静止画・図版等の収集および作成。資料の収集にあたっては学園が推奨する素材（AFP）を優先的に選択する。なお、日本経済新聞社の著作物については使用を控えること（許諾条件の履行が困難であるため）。

5) 請負事業者による「放送大学学園著作物利用規程」に基づく権利処理（音楽等一部を除く） 処理にあたっては、以下の点に留意のこと。

- ・学園が定める承諾書出演者から受領すること。また、受領した承諾書はコピーを保管の上、原本は放送部放送管理課へ提出すること。
- ・番組出演者（学園の教員を除く）にかかる出演料、交通費等は、請負事業者が負担すること。
- ・上記 4) の素材資料の放送（マルチ編成含む）等利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行い、それに伴う費用は請負事業者が負担すること。
- ・放送（衛星、CATV 等による同時放送を含む）・インターネット配信（学園のウェブサイト上での一般向け公開。告知用動画においては、YouTube 等外部ウェブサイト上での一般向け公開にも対応のこと。ストーリーミング方式であって、在外学生向けを含む。）の利用許諾を得る

こと。

- ・学習センター等への DVD 配架等の番組の二次利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理を行うこと。
- ・権利処理及び利用した素材（音楽及び上記 3）等に伴う出演者並びに上記 4）含む）等の記録報告を学園所定の書式（「著作権処理業務完了報告書」及び「楽曲使用報告書」）にて紙及び電子媒体で行うこと。

6) 美術セットの調達と操作

- ・大道具・小道具、生花木の調達及び操作

7) タイトル、テロップ・パターンの制作等

- ・タイトル、テロップ・パターンのデザイン及び制作
- ・CG・アニメーションの作成及び操作

番組の告知用動画の開始タイトル及び終了タイトルの表示方法は、別途学園プロデューサー等の指示に従うものとする。

8) 番組の試写

- ・学園プロデューサーによる完成前試写及び指示に応じた修正作業

9) 放送用台本の作成、印刷

- ・放送用台本の作成及び印刷

10) 音響効果

- ・番組に関わる選曲および効果音制作等

11) スタジオ収録及び収録時の副調整室及びフロアでの指揮

- ・スタジオ収録に関わる各種伝票処理
- ・出演者・技術スタッフとの収録打合せ
- ・ドライ、カメラリハーサル
- ・学園プロデューサー等の検査後、ディスク等引渡し

12) 広報用写真の作成

- ・画像例
 - ・番組タイトル画像
 - ・各出演者のバストショット画像
 - ・出演者全員が映っている画像
 - ・番組イメージの分かるグラフィック画像等
- ・画像サイズ1920×1080、画像形式は学園プロデューサーの指示に従う
- ・学園ウェブサイトでの掲載・ニュースリリース配信等のネット利用のための著作権処理を行っているもの

13) 後処理、手直し等

- ・資料の整理
- ・伝票の整理
- ・番組制作に使用した素材テープ等の入庫整理
- ・納品後、番組の手直しについて、請負事業者の責めに帰すべき理由によるものは、請負代金に含むものとする。

14) 上記各項目の業務遂行のために必要な打合せ参加

5. 番組制作業務に必要と想定される職種及び人数

請負事業者は、学園プロデューサーと協議のうえ、当該業務を適切に遂行できるよう各業務内容に応じ必要な専門知識を有する者を手配するものとする。

6. 学園施設・機器等

- 1) 収録は学園のテレビスタジオを使用することができる。その場合、収録に係わる業務に必要な技術要員は、学園で措置する。
- 2) 完成素材収録用 XDCAM メディア、スタジオ収録用 XDCAM メディア、番組審査試写用 DVD-R、番組編成業務用 DVD-R は必要な数を貸与する。なお、DVD-R の貸与については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。
- 3) 請負事業者が手配・調達するものは以下の通り。
 ○学園スタジオでの収録時に必要な要員（技術要員を除く）○ロケ（要員および機材）
 ○オフライン編集（要員および機材）○音響効果（要員および機材）○スタジオ大道具・小道具、道具操作
 ○メイク ○衣装(スタイリスト)
- 4) 上記に含まれないものについては学園と請負事業者が協議の上で決定する。

7. 記録媒体等

学園が使用する記録媒体は XDCAM メディアであり、記録媒体の学園外への持ち出し及び学園への持ち込みについては、全て XDCAM メディアで対応すること。

8. 学園への納入物品の取扱い

次の完成物を番組の種別ごとに記載された数量を履行期限までに①～④を制作部へ、⑤～⑨を放送部放送管理課へ納入し、学園職員による検査を受ける。なお、③及び④については、学園が別に指定するクラウドサービスの利用に代える場合がある。また、納入物品は**学園技術フォーマット**（別添の「テレビ制作技術基準」を参照）に準拠すること。

	生涯学習支援番組 (1 番組あたり)	告知用動画 (1 番組あたり)
① 放送用本番素材記録XDCAMメディア	1 本	1 本
② クリーンピクチャー収録XDCAMメディア	1 本	1 本
③ 番組審査試写用DVD-R	1 本	1 本
④ 番組内容確認用DVD-R	1 本	—
⑤ 放送用台本電子媒体	1 式	—
⑥ 広報用写真電子媒体	1 式	1 式
⑦ 著作権処理業務完了報告書※ (紙及び電子媒体)	1 式	1 式
⑧ 楽曲使用報告書(紙及び電子媒体)※	1 式	1 式
⑨ 出演者から受領した承諾書の 原本 ※ (「4. 番組制作業務の具体的内容、手順」の 5) を参照のこと)。	1 式	

※学園所定の書式で提出すること。

9. 番組制作業務完了の報告

請負事業者は、業務完了後「番組制作業務完了報告書」を放送部放送管理課に提出すること。

10. 請負代金の請求・支払

請負事業者は、8 及び 9 の検査に合格したときは、請負代金を学園に請求する。

学園は、適法な請求書受理後、40 日以内に財務部経理課から支払うものとする。

11. 著作権の帰属等

1) 制作した番組（放送用利用分以外の番組収録素材を含む）に関する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）は学園に帰属する。

2) 番組は、学園の著作名義で公表する。

なお、制作協力等の表示は、学園の基準によるものとする。

3) 学園は、番組等及び関連素材を必要により改変して使用することができる。

4) 請負事業者は、著作者人格権について、一切行使しないものとする。

5) 上記各項目は、許諾を得た第三者の権利の帰属に影響を及ぼさない。

12. 業務内容の変更等

1) 本仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負事業者の責任において履行するものとする。

2) 予期することができない状態の発生など、業務内容を変更せざるを得ない場合には、学園と請負事業者が協議の上で、業務内容を変更することができる。

3) 業務内容が変更された場合には、請負代金についても協議の上、変更することができる。

13. 安全の確保

1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、請負事業者の従業員を直接指揮命令する者（以下、「現場責任者」という。）を必要に応じて 1 名以上選任し、任務に当たらせるものとする。

2) 現場責任者は、業務の実施の過程における安全対策について、請負事業者の従業員およびその指揮下にある全てのスタッフの安全確保に十分取り組むとともに、徹底を図る。

14. 業務の再委託等

1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、業務の全部について、一括して第三者に請負わせたり、一括して第三者に再委託してはならない。

2) 業務の一部を第三者に対して、請負わせたり、再委託する場合、請負事業者は、あらかじめ、所定の事項について、学園に申請した上で、承認を得なければならない。

制作する番組・本数・概算所要経費・請負期間

1. 生涯学習支援番組 3番組

No.	分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）	請負期間
1	BS キャンパス ex 特集	児童虐待と社会的養護 (45 分×1 本)	4 年 40 回	1,644.5 千円	契約締結日～ 令和 8 年 2 月 27 日
2	BS キャンパス ex 特集	イネの新たな時代～日本の農学の国際貢献と生産拡大へのチャレンジ～（仮） (45 分×1 本)	4 年 40 回	1,982.2 千円	契約締結日～ 令和 8 年 2 月 27 日
3	その他	231 オーディトリウム ～米仏映画黄金期への招待～ Part 5 (150 分×2 本、135 分×2 本)	4 年 40 回	4,092.0 千円	契約締結日～ 令和 8 年 2 月 27 日

2. 告知用動画（放送やネット配信等で利用する 1 分間の告知用動画） 3番組

No.	題目名	本数	概算所要経費（税込）
1	児童虐待と社会的養護	1 本	上記 1 No. 1 に含む
2	イネの新たな時代～日本の農学の国際貢献と生産拡大へのチャレンジ～（仮）	1 本	上記 1 No. 2 に含む
3	231 オーディトリウム ～米仏映画黄金期への招待～ Part 5	4 本	上記 1 No. 3 に含む

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター

制作部 足立圭介

1) 番組名(グループ名) BSキャンパスex特集	2) 個別番組タイトル 児童虐待と社会的養護
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4 年 4 0 回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望	4) 番組尺、本数 4 5 分 × 1 本
5) 内容等 a. 目的・ねらい 児童虐待の児童相談所への相談件数は 22 万件を超え、統計を取り始めた 1991 年の 200 倍になっている。そのうち施設や里親など、いわゆる社会的養護（養育）のもとで生活する子どもは 4 万人ほどいる。国は、小規模ケアと家庭的養護の推進を進めており、「大きな施設にたくさんの子どもが生活している」状況は過去のものとなり、里親委託の推進や施設の分散化などにより、社会的養護は身近なものになってきているにもかかわらず、その理解は進んでいるとは言いがたい。実際に、地域に児童養護施設を建設する際に、反対運動が起き、計画の変更を余儀なくされた例もある。心理相談のなかでも、児童虐待のサバイバーは少なからず存在している。児童虐待や社会的養護は、「限られた一部の人たちに起きている現象で、そのケアも専門家だけが担えばよい」という状況ではなくなっている。幼児教育の無償化をはじめとして、公的責任において子どもの育ちを支援する施策と連動して、国民も「子どもを地域で育てる」意識を持つ必要がある。本講義で、虐待を受けた子どもたちのケアの受け皿になっている社会的養護（養育）に関する理解を深め、多様な子どもの育ちの在り方を学ぶことの一助になることを目的とする。 b. 内容・構成 ・「児童虐待と社会的養護」－スタジオでの講義（村松健司） 児童虐待とは何か、子どもたちのケアのために何が必要か、をトラウマと発達支援の観点から解説する。社会福祉法人東京家庭学校で収録を行い、小規模グループケアの実践や地域との関係づくりについて、施設長の松田雄年先生との対談から、具体的なエピソードや施設で生活する子どものニーズを紹介する。 最後に、子育ての歴史的背景について触れ、家族が子育てにすべての責任を負うことは時代的要請の帰結であり、ヒトとしての特性でとは言いきれないこと、アタッチメント（愛着）の形成も誤解され三歳児神話が流布されたことで、家族による子育てに大きな負荷がかかっていることに触れ、「社会による子育て」の視点の共有が可能となる契機とする。	
c. 取材対象 ロケ取材 : 有 東京家庭学校 松田雄年施設長	
d. 出演者など（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載） 東京家庭学校 松田雄年施設長	
6) 主体性の確保	

番組全体の構成について、本学責任教員が関わることで、放送大学の主体性を担保する。		
7) 制作予定期間	令和7年12月 ～ 令和8年2月末	
8) 演出上の特記事項	特になし	
9) 字幕制作希望	☒ 有	・ 無

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター

制作部 足立圭介

1) 番組名(グループ名) BSキャンパスex特集	2) 個別番組タイトル イネの新たな時代 ～日本の農学の国際貢献と 生産拡大へのチャレンジ～ (仮)
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4 年 4 0 回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望	4) 番組尺、本数 4 5 分 × 1 本
5) 内容等 a. 目的・ねらい 長期的な気候変動や途上国の人口増加、環境変化、食糧問題などの地球規模で生起する課題に対応するため、日本の農学分野の研究においても、これまで様々な機関・大学等を通じて共同研究によって、海外諸国の農業の発展や地域振興に寄与する国際貢献を行ってきた。このような現状に対して、日本の農学が長年蓄積する研究において、特にコメ（イネ）分野で（収量増、環境適応・耐性、食味等）、世界的な食料問題に取り組む研究のこれまでの実績を振り返りつつ、現在から将来にわたってどのように貢献できるのか講義する。 この番組では、農学とは何かを確認して、日本の農学が育んだ国際貢献を食糧問題に対峙するコメ（イネ）の育種技術の最新の展開とともに解説する。パワーポイントや現地の写真・動画を用いて講義する。また名古屋大学、国際農林水産業研究センターのラボラトリーおよび圃場のロケーション撮影を行って視聴者(学生等)への学習効果の向上をねらう。番組では、主に3つの講演から番組を進行する。 1. 今、農学が面白い！（大杉立先生（日本農学会会長）） 2. イネの分子育種を用いた食料問題緩和へのチャレンジ（芦荻基行先生（日本育種学会、名古屋大）） 3. サブサハラアフリカの食料危機に立ち向かう作物科学（辻本泰弘先生（日本作物学会、国際農林水産業研究センター））	
b. 内容・構成 この番組では、著作権処理が可能な映像またはパワーポイントを使用しながら、放送大学のスタジオで、大杉立先生、芦荻基行先生、辻本泰弘先生が、それぞれの分野について解説していく。 ○（大杉立先生）農学とは何かについて講義する。また、日本におけるホットな農学の研究成果として、芦荻基行先生、辻本泰弘先生の業績と農学の位置づけについて紹介する。 ○（芦荻基行先生）イネのゲノム情報を活用してイネの収量性に関わる遺伝子の発見と最新の育種研究の知見を講義し、それを利用したアフリカの食糧問題の課題にチャレンジするイネ品種の開発と普及プロジェクトによる展開、社会実装について講義する。 ○（辻本泰弘先生）なぜアフリカの農業生産が伸び悩むか、その背景にある小規模農家の農業生産活動に焦点を当てつつ、その課題解決のために日本の作物生産科学による貢献とそれによる現地に根付く技術改良で、サブサハラアフリカで普及が進む新しい水稻生産について講義し、さらに今後の農学分野の横断的連携とそれを担う人材育成の重要性を講義する。	

c. 取材対象	ロケ取材	:	有
d. 出演者など（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載）			
大杉立先生（日本農学会会長、講師）、芦荻基行先生（日本育種学会、名古屋大学教授、講師）、辻本泰弘先生（日本作物学会、国際農林水産業研究センタープロジェクトリーダー、講師）、古橋元（放送大学教授、聞き手）			
「日本農学会」が主催した 2024 年度のシンポジウムにおける最新の農学研究及び技術開発の講演から出演者を選抜した。「日本農学会」は、農学に関する専門学協会の連合体で各学協会が会員となり、また農学およびその技術の進歩発達に貢献し、総合統一された農学の発展を目指す連合体であり、昭和 5 年（1930 年）に設立された。			
大杉立先生は、東京大学大学院農学生命科学研究科教授時代に日本作物学会会長等を歴任され、現在、日本農学会会長であり、作物学においても多大な貢献を果たされた。			
芦荻基行先生は、日本育種学会員として、植物分子遺伝学が専門で、植物の成長メカニズムを遺伝子レベルで解明する研究を行い、「イネの形態形質に関する分子遺伝学的研究および育種への応用」で日本育種学会賞を受賞された。名古屋大学 生物機能開発利用研究センター教授。			
辻本泰弘先生は、作物生産科学を専門として、生産現場での観測と実験を繰り返し、アフリカにおける作物の生産性改善の研究を行い、「アフリカの栽培環境に適した効果的なイネ施肥技術の開発と普及」で日本農学進歩賞を受賞された。国際農林水産業研究センター 生産環境・畜産領域プロジェクトリーダー。			
（参考）日本農学会 2024 年度シンポジウム https://www.ajass.jp/Sympo/2024sympo.html			
6) 主体性の確保			
古橋元（放送大学教授、聞き手）が要となって、大杉立先生（日本農学会会長）、芦荻基行先生（日本育種学会）、辻本泰弘先生（日本作物学会）による講義について、番組の企画、全体の構成、内容の設計を行うとともに、台本の確認、事前準備等を行い、本学としての主体性を確保する。			
7) 制作予定期間	契約締結日 ～ 令和 8 年 2 月末		
8) 演出上の特記事項	著作権処理が可能な映像等を利用		
9) 字幕制作希望	☒	有	無

※出演者は現時点の予定であり、変更の可能性がある。
出演予定者に内容等問い合わせを行うことは厳禁とする。

制作する番組・本数・概算所要経費

担当プロデューサー、ディレクター

制作部 足立圭介

1) 番組名(グループ名) その他	2) 個別番組タイトル 231 オーディトリウム ～米仏映画黄金期への招待～ Part 5
3) 放送回数、期間、マルチ展開など ・ 4 年 40 回 ・ インターネット配信公開講座での無料配信を希望	4) 番組尺、本数 映画本編+講義 計尺 150 分 x 2、135 分 x 2 (計 4 本) 『市民ケーン』(総尺 119 分)『マルタの鷹』(総尺 102 分) 『ゲームの規則』(総尺 110 分)『自転車泥棒』(総尺 93 分)
5) 内容等 a. 目的・ねらい 現代の芸術と文化に大きな影響を与えた“映画”作品。その中から古典ハリウッド映画の代表作 12 本と 1930 年代のヨーロッパ映画の黄金時代の作品、ドキュメンタリー映画の初期代表作なども加え、全編上映と放送大学講師による分析を行う映像で語る講義＜231 オーディトリウム＞。 欧米の大学では、キャンパス内の大小のオーディトリウムで、講演会・コンサート・映画上映・講演などが毎日のように催され、学生・教員や地域住民に上質の文化生活を提供している。映像による授業を行う放送大学の特性を生かし、教員が参画したレクチャー上映は、上質な文化的エンターテインメントとしての訴求力と同時に、放送大学の授業への導入としての意味をもつ。 海外では既に映画学が体系化され学ばれ、我が国でも人文系の領域を中心に研究が進んでいる。主に映画がジャーナリズムとして果たした役割を考える流れと、映像による芸術表現として美学・芸術学的に果たした役割を考える流れがある。例えば、モノクローム映画の全盛期の一つとして戦前・戦中・戦後期があげられるが、第二次世界大戦をめぐる社会的背景や、単に映画であるだけではなく社会史、歴史、思想史などの観点からも分析が可能である。また、文壇と映画が芸術的表現で競い合っていた時代に、文章で描けない人間ドラマ、心理の機微を映像で表現する試みがなされ、思想史と文化運動史の観点からも貴重な資料が残されてきた。 今回の企画では、2025 年度より開設の放送授業『映画芸術への招待(’25)』の主任講師である宮本特任教授と野崎教授が、授業の内容と密接に結びつくアメリカ編 2 本、ヨーロッパ編 2 本を提案する。それぞれ日本語字幕版でフィルム画質の良い作品素材を選んでいく。今回提案した第一候補がそろわない場合は他候補の作品に変更する。なお、映画の著作権が切れる 70 年以前の作品は、低価格の使用料(字幕分を含む)での放送が可能である。 ・冒頭の紹介 5 分程度、映画の全編上映と映画分析の講演 30～40 分程度で構成する。	
b. 内容・構成 放送大学の AV ホールを使い、映画館の雰囲気の中で、上映及び講演解説を行う。映画は日本語字幕版を使い放送に耐える画質のものを選択する。それぞれの映画上映時間は異なるが、この上映時間に加えて冒頭 5 分程度の解説と上映後 30 分程度の映画分析の講演を行う。 〈アメリカ編〉宮本陽一郎教授	

『映画芸術への招待』の授業で取り上げ、また著書・論文のなかで論じた映画作品を取り上げる。上映作品の解説を超えて、アメリカ文化論・表象論・映画研究など多角的なアプローチをとり放送大学の授業としての内実を持つものとする。

紹介する映画作品：

○『市民ケーン』1941 年、119 分（映画上映時間）

映画批評家たちによって、映画史上ベストワンに繰り返し選出されてきた、言うまでもない名作であり、今日に至るまで最も広く研究されてきた映画作品である。その大胆な映像言語は、映画史・映画美学を理解するうえで必見のものである。また企画段階で「アメリカ人」と題されていたこの作品は、アメリカ人論の系譜のなかでも見落とすことができない。

○『マルタの鷹』1941 年 102 分（映画上映時間）

しばしば最初の「フィルム・ノワール（暗黒映画）」としてその名を挙げられる作品である。ハンフリー・ボガードによって演じられたタフガイ探偵サム・スペードの造形は、アメリカの大衆文化に深い影響を残す。のみならず左翼作家ダシール・ハメットの原作小説も端を発するノワールなアメリカ像は今日に至るまで、グローバルな影響力を生んでいる。

〈ヨーロッパ編〉野崎歓教授

『映画芸術への招待』の授業の内容と結びつけつつ、第二次世界大戦前のフランス映画一本と、戦後ヨーロッパを代表するイタリア映画一本を取り上げる。第2次世界大戦を跨ぎ、映画芸術が多様化していくプロセスを明らかにする。

紹介する映画作品：

○『ゲームの規則』1939 年 110 分（映画上映時間）

ジャン・ルノワール監督がフランスを離れる直前に製作したこの作品は、第2次世界大戦を目前にしたヨーロッパ社会の退廃を余すところなく描く風刺喜劇である。公開時の興行成績は奮わなかったものの、1959 年の完全版復元以降評価を高め、映画史上の最重要作品の一つとして評価されるにいった。

○『自転車泥棒』1948 年 93 分（映画上映時間）

失業労働者が息子とともに盗まれた自転車を探し求めて彷徨する物語をドキュメンタリー的手法によって描き出す、ネオレアリズモの代表作の一つである。アカデミー外国映画賞を受賞するなど、全世界的なインパクトを与える。日常的な光景を既成の映画とは異なる眼差しで描き出すその斬新な映像表現は、戦後の各国における映像表現の革新を生むきっかけとなった。

- ・映画素材は、パブリック・ドメイン作品を取引実績のある販社から放送大学が放送使用の権利を購入し、制作会社に映像素材を支給し制作する。
- ・番組の全体尺は講師と放送大学プロデューサーの判断により、最終的な制作分数を決定する。
- ・放送大学附属図書館 AV ホールでの収録に際して、使用カメラは3台以上とする。

c. 取材対象 ロケ取材 ： 無

基本的に著作権期間終了の映画作品を用い、AV ホールを仮想オーディトリウムとして制作する。

d. 出演者など（※キャリアアップ支援認証制度を希望する場合は、担当講師及び客員教員発令の有無も記載）

放送大学 宮本陽一郎特任教授、野崎歓教授

6) 主体性の確保

放送大学の講師による講義・解説で制作する。

7) 制作予定期間 令和7年8月 ～ 令和8年2月末

8) 演出上の特記事項 特になし

9) 字幕制作希望

☐有

・

☐無

テレビ制作技術基準

別添

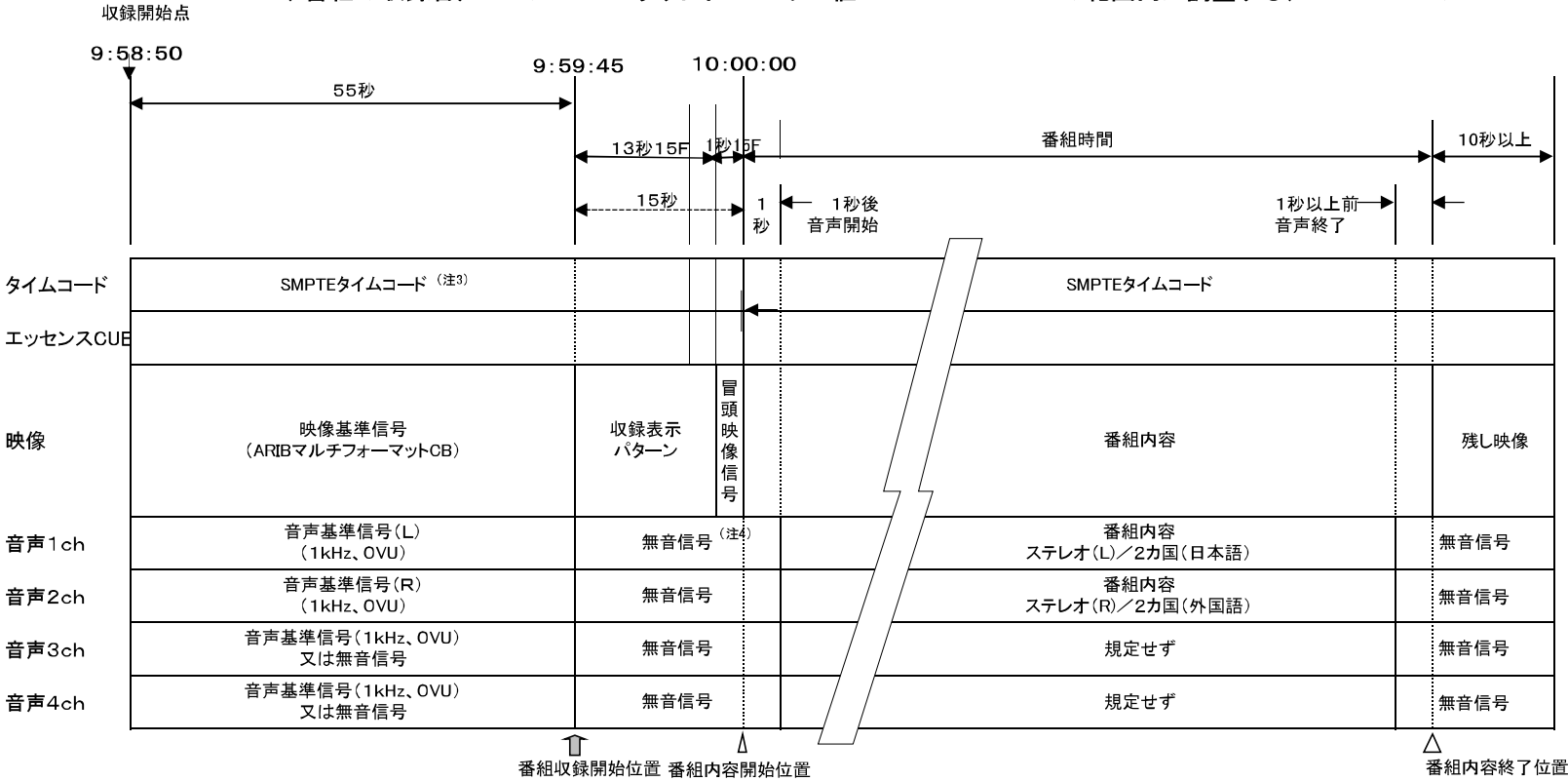
XDCAM-HDディスク放送用収録フォーマット

令和6年4月1日

◇映像:MPEG2 422P@50Mbps ◇音声:LPCM 48kHz 24bit 8ch ステレオ

◇MXFオペレーションパターン OP1a

◇番組の収録音声レベル -ラウドネスメーター値 -24LKFS±1dB の範囲内に調整する(ARIB TR-B32/NAB T032)



* 予備SB(ステーションブレイク)は、1枚のディスクに複数本収録するが、それぞれが独立したファイルに1クリップで基準フォーマット収録する。
* 送出サーバー登録時、09:59:58:00からファイリングするため表示パターンを09:59:58:15まで記録する。

- 注1: ARIBマルチフォーマットカラーバーは「ARIB STD-B28」に準拠すること。
2: 音声基準信号は、OVU＝基準量子化値(フルビットから20dB下がった値 -20dBFS)とする。
3: タイムコードトラックには、収録開始位置から連続したSMPTEタイムコードを記録すること。(ドロップフレーム)
4: 無音信号とは入力信号を絞りきった(無音の)音声信号が記録された状態をいう。
5: 番組試写終了後、TDまたは担当者がラウドネスメーター値を番組収録連絡票に記入すること。
6: デジタル音声のプリエンファシスは使用しないこと。
7: ディスクごとに「ワンクリップ」収録とすること。
8: 末尾のフィラー音楽開始については、1秒以上音声の空白を挿入すること。

別添

外部制作での完プロ制作における編集ソフトの考慮すべき項目

制作番組の完成品（完プロ番組）を放送大学学園に納入の際は、サーバ登録、送出、制作の観点から、下記の編集ソフトウェアを使用すること。

1. エディウス（GrassValley EDIUS）
2. プラナス（PRUNUS）
3. アビットメディアコンポージャー(Avid Medeia Composer)

※書き出し時のエンコーダは「Avid Medi 4.4.」を使用すること

4. ブラックマジックデザイン(Davinci Resolve+Main Concept)

なお、上記以外の編集ソフトウェアを使用する場合は、必ず、XDCAM ディスクにベースバンド収録して完成品とすること。

以上によらない場合は、あらかじめ学園の承諾を得ること。